

目標達成計画

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者の身体状況や認知症状に応じて、家族様の了解も得たうえでベッド柵の使用や車いす離床時のY字ベルトを使用しているが、見直しが怠りがちになっており、記録としても不備になっているので、整理しなおす必要がある。	身体拘束と思われる現状のケアを洗い出し、短時間の拘束であっても入居者様に心理負担や弊害が及ぶことを理解し、より抑圧感のない暮らしになるようなケアの実践。	ベッド柵の使用、車いす使用時のY字ベルトの使用等、身体拘束に当たるケアを選び出し、再度家族様との協議が必要であれば書面にて同意書をいただく。並行して様式の検討も行い、必要であれば変更を行う。	2 か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。